

特 別
A 13
1920
7





十三編上



十三編上

何種
 軍画
 うちの
 種彦化
 團員
 畫
 版元
 如
 書

門へ遠13
 1920
 7 止

十二の目と
 あけがす寸
 すくゑの
 うらゝまの
 種より化
 回りり魚



一
 傳
 同

文鴉月夜鳥... 病鴉種々の可良須ある中明鴉と
 浦里と時次郎の愛形ありんとの浦里と時次郎
 積る夢の沫雪文句とて... 借敷度云こと
 色めかき世鬼あまら老毛叟あ極めて應をき其上のりつこと
 初代浦里が薄命と小織助の流浪あどめて十編餘の長談時次郎
 のあれたわを鳥を酒有て肴さく太夫有二三亦あく画有て讀きた
 艸紙の如く強きた弓の彎もねど投ても當る一枝の矢の雁股もろ
 ちろちろちろ十三編を運歩てえこれと二の浦里未興見次郎とある
 鐺一却て早十四五歳其間の年曆を合せん爲の合の狂言何とあらうぞ
 太郎冠者とと一段且しかるを餘事へ省思て急で参らう後の山名屋の
 段中お待遠ゆいあまのぞく

丁卯歳首

柳の種まき

月書一三



豆の茶
主徳所

忠僕四郎平

駒
立
場



石橋家
妻玉
琴

侍女三原



Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items related to the scene. The text is arranged in vertical columns.

Handwritten text in a cursive script, continuing the commentary or list. It is positioned to the left of the kneeling woman.



Handwritten text in a cursive script, likely a commentary or a list of items related to the scene. The text is arranged in vertical columns.

Handwritten text in a cursive script, continuing the commentary or list. It is positioned below the kneeling woman.

11

Handwritten text on the left margin of the first page.

Handwritten text on the right margin of the second page.

Handwritten text on the right margin of the second page.



あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの

あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの

あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの

あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの



あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの

あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの

あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの
あつちのあつちの

種彦作
國貞画



七海の草錦譚

室町源文昭撰著
種彦作
國貞画

假名情談の睡香
種彦作
國貞画

童謡妙々車
種彦作
國貞画

傳幻日記
種彦作
國貞画

地本双紙問屋
種彦作
國貞画

新屋吉藏板

日...

七...



あけがす
あけがす
あけがす
あけがす

十三編下





明鴉墨画乃祢禰

十三編下

柳丸一掃天能
梅竹松園久人画

真古ろの陣



Handwritten text in the top section of the left page, including the characters "日" and "月" on the right margin.



Handwritten text in the bottom section of the left page, including the characters "日" and "月" on the right margin.



Handwritten text in the bottom section of the right page, including the characters "日" and "月" on the right margin.



あ
ら
ま
の
う
た
の
う
た
の
う
た

十四
編
上

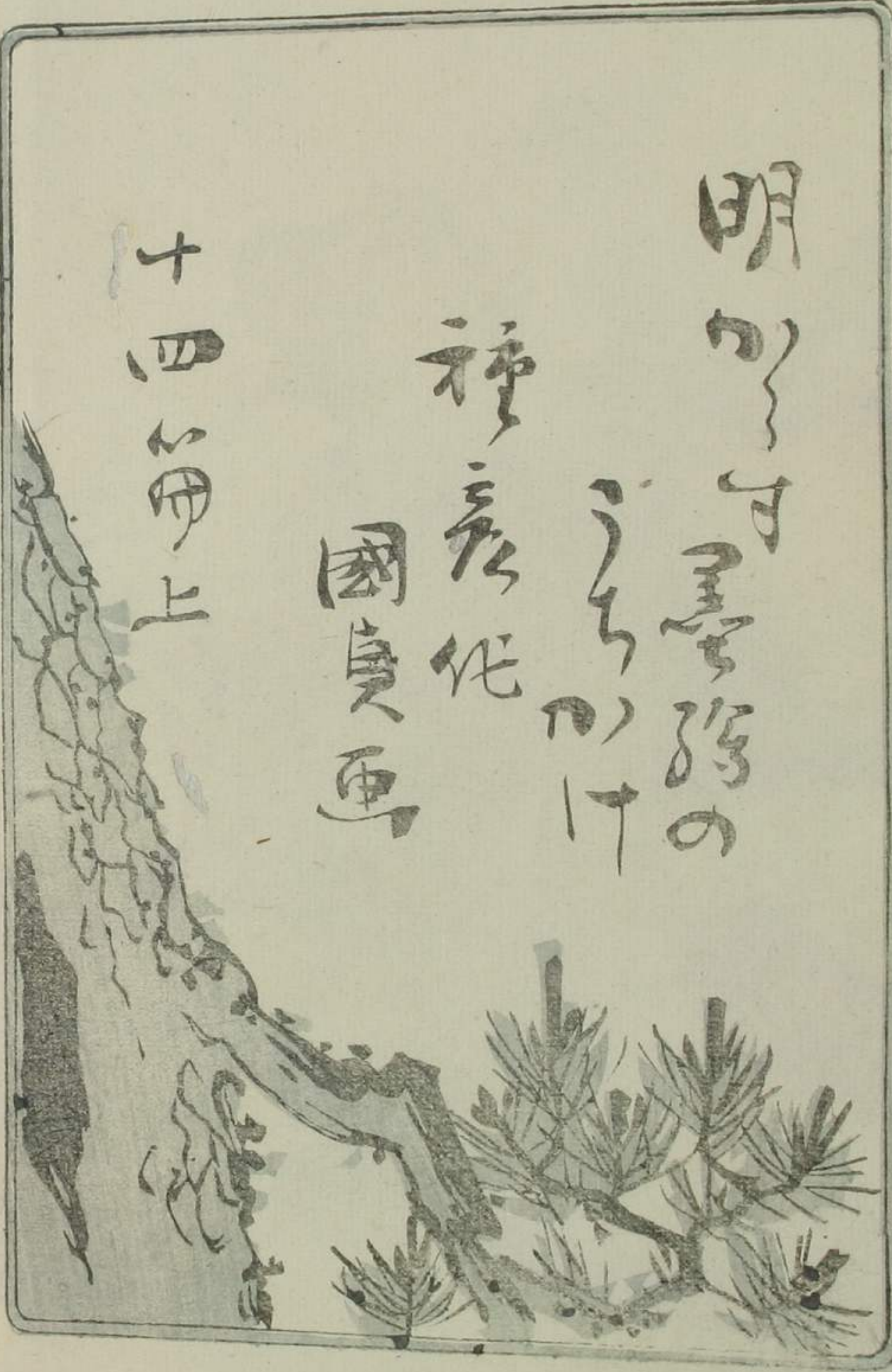




且明まことまことてあめせとく 初鳥はつとりの羽色はねいろを擬なせ油
 烟かえりの新一あたらたと摺流すりながしる 硯すずり海沖見うみうの浦里うらの
 庚詞きやうしと故人こじん春馬はるまのあひつ解と氷こりの若水わかしづ小沾こて
 赤あか乾ひぬ袖そでも脚あしを洗あらひ復本もとの白しろと黒くろとの善よし悪わる
 分明あきらか其大詰おほいをまるの内うち々速すみ々作つくけとの主顧しやく方の
 芳あや命な小力ちからと兄あに方かた小むらひ 吉書きち始はじめ小筆ひの毛卵け
 の正月あたら元日あたら

柳亭種彦
 自叙

鐔つ市下し巻まる時ときてとあり
 造酒つく十五い人にをうくぶとあり



十四の甲上

明あきの守まもり
 神かみ彦ひこ代しろ
 國くに貞さだ画え



木の葉の
 ささやき
 風の音
 鳥のさけび
 水のせせこめ
 虫のさえずり
 花の匂い
 土のにおい
 空の青さ
 雲の白さ
 月の輝き
 星のきらめき
 朝のさわやかさ
 夕の静けさ
 夜の涼しさ
 冬の厳しさ
 春のあたたかさ
 夏ののどかさ
 秋の静けさ
 年の流れ
 時の流れ
 命の輝き
 愛の大切さ
 夢の大切さ
 希望の大切さ
 努力の大切さ
 忍耐の大切さ
 謙虚の大切さ
 誠実の大切さ
 正義の大切さ
 勇気の大切さ
 知恵の大切さ
 忍耐の大切さ
 謙虚の大切さ
 誠実の大切さ
 正義の大切さ
 勇気の大切さ
 知恵の大切さ



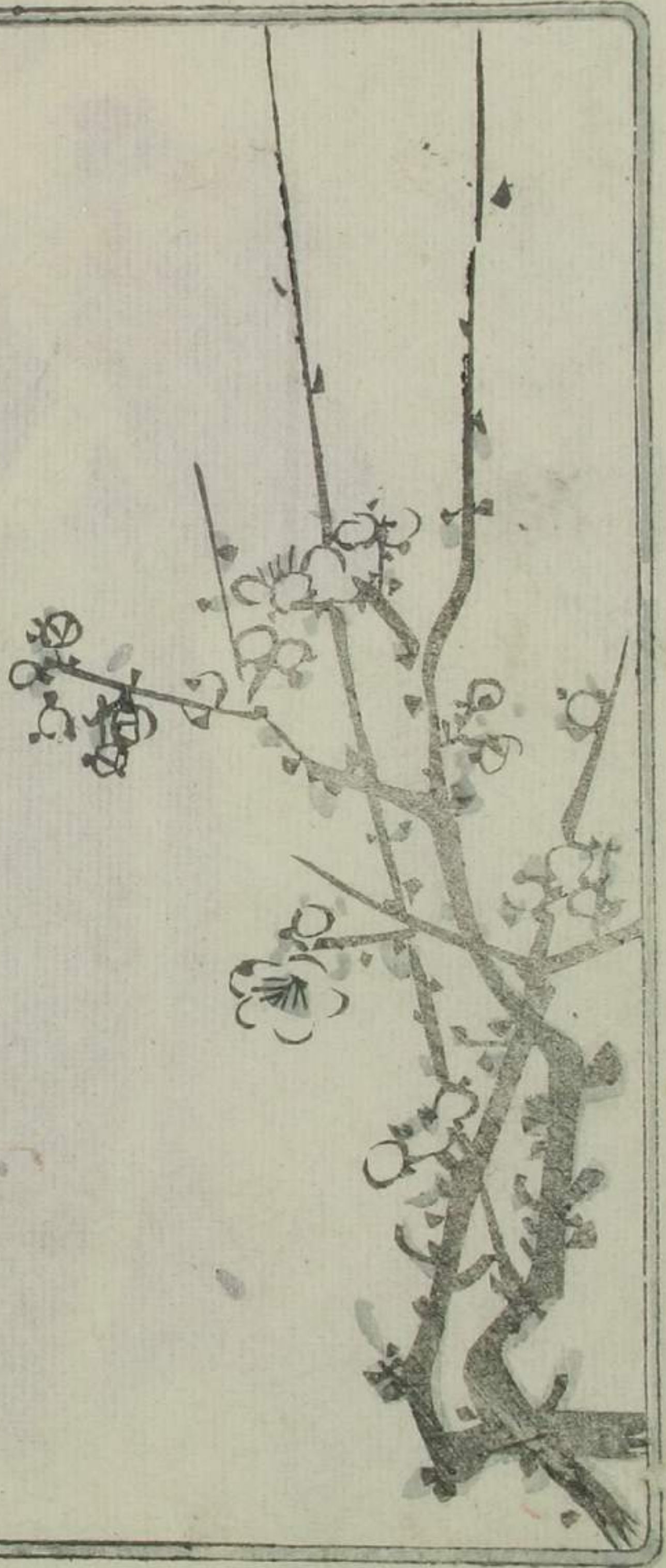
木の葉の
 ささやき
 風の音
 鳥のさけび
 水のせせこめ
 虫のさえずり
 花の匂い
 土のにおい
 空の青さ
 雲の白さ
 月の輝き
 星のきらめき
 朝のさわやかさ
 夕の静けさ
 夜の涼しさ
 冬の厳しさ
 春のあたたかさ
 夏ののどかさ
 秋の静けさ
 年の流れ
 時の流れ
 命の輝き
 愛の大切さ
 夢の大切さ
 希望の大切さ
 努力の大切さ
 忍耐の大切さ
 謙虚の大切さ
 誠実の大切さ
 正義の大切さ
 勇気の大切さ
 知恵の大切さ





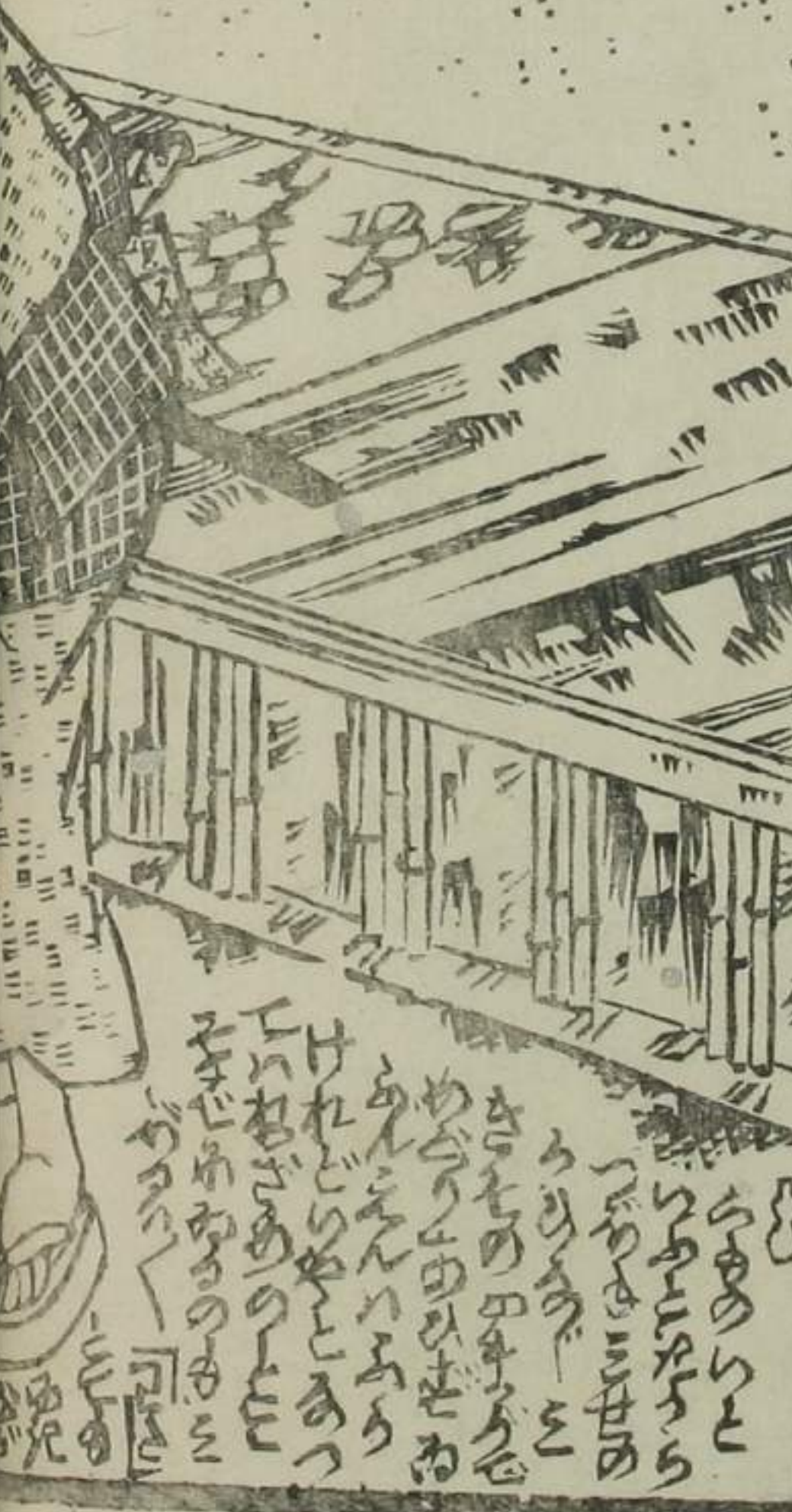


五下十の節





三十一



三十四



Vertical text on the left side of the top illustration, likely a name or title.

Vertical text on the left side of the bottom illustration, likely a name or title.

Vertical text running down the center gutter between the two pages.



Vertical text on the left side of the bottom illustration, likely a name or title.

Vertical text on the left side of the bottom illustration, likely a name or title.

Vertical text on the right side of the bottom illustration, likely a name or title.



柳亭種彦作



○第十卷の序文
 ついでに書かれたりせん
 うらみのついでに書かれたり
 由とありてはあはれ
 ちんのかちとせん
 ひんのかちとせん
 ねんのかちとせん
 まるりの外に
 版元

梅蝶樓國貞画

新局九尾傳

十編より
 十二編まで
 爲水春水作
 梅蝶樓國貞画

室町源氏胡蝶卷
 十六編
 種彦作
 國貞画

鼠洞通夜譚
 七編
 種彦作
 國貞画

童謡妙々車
 十四編
 種彦作
 國貞画

薄倂幻日記
 十九編
 春水作
 國貞画

七姉と昔飾譚
 一編
 種彦作
 國貞画

筆海四國開書
 十三編
 種彦作
 國貞画

明鴉墨需禰禰
 十五編
 種彦作
 國貞画

花封答玉章
 十編
 種彦作
 國貞画

八犬傳犬の双紙
 五十一編
 柳亭録
 國政画

為屋吉藏板
 南傳馬町壹丁目

